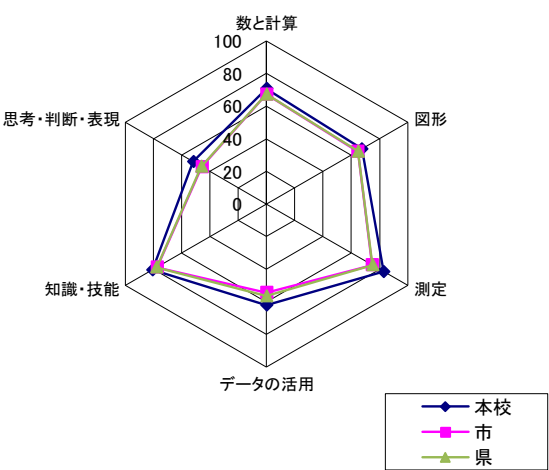


宇都宮市立横川中央小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

○100点に 到達 領域等 観点	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	70.6	67.3	67.4
	図形	67.5	64.5	64.7
	測定	82.8	74.7	74.9
	データの活用	62.1	54.4	56.4
観点	知識・技能	80.8	77.6	77.8
	思考・判断・表現	51.9	45.8	46.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○平均正答率は70.6%で、県より3.2ポイント上回っている。 ●3桁+3桁の和が4桁になる計算の問題の正答率は81.9%で、県より6.7ポイント下回っている。 ●示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数の減法を整数の減法に直して処理する方法を説明する問題の正答率は県とほぼ等しいが、16.9%と低い。	・朝の学習や授業、AIDリル等を利用し、年間を通して継続的に計算練習に繰り返し取り組み、基礎的・基本的内容のさらなる定着を図る。 ・授業の中で、加減乗除の計算のしかたを言葉や式などを用いて表したり、互いに説明し合ったりする数学的活動を充実させることで自分の考えをもつことができる児童の育成を図る。
図形	○平均正答率は67.5%で、県より2.8ポイント上回っている。 ○円の中心とコンパスの使い方に関する問題の正答率は66.3%で、県より6.3ポイント上回っている。 ●円の性質を考え、コンパスを使って正三角形が作図できることを説明する問題での正答率は31.3%で、県より2.1ポイント下回っている。	・図形を学ぶ際には、具体物を用いて指導し、図形の特徴を理解させ、すべての児童が視覚的に理解しやすいような支援を行っていく。 ・設問の意味を理解し合うような学び合いの場を意図的に設定し、自ら作図をしたり自分の考えを説明したりする活動を取り入れる。
測定	○平均正答率は82.8%で、県より7.9ポイント上回っている。 ○身近なものの重さの単位についての問題の正答率は95.2%で、県より15ポイント上回っている。 ●はかりの目盛りを読み取り、重さを答える問題の正答率は県よりも上回っているが、57.8%と低い。	・測定単元の授業の中で、既習事項を確認したり、実際に具体物を使用したりして、復習ができるような授業展開を行う。 ・長さや重さの単位について、朝の学習や宿題等で、定期的に復習に取り組むようにし、基礎・基本の確実な定着を図る。
データの活用	○平均正答率は62.1%で、県より5.7ポイント上回っている。 ○棒グラフを読み取り、2番目に多かったスポーツを答える問題の平均正答率は95.2%で、県より6ポイント上回っている。 ●2つの棒グラフで1目盛りの数が異なることに注意しながら、棒グラフを読み取る問題の平均正答率は県を上回っているが、28.9%と低い。	・日頃から、問題文で問われていることや資料で記されている内容を適切に読み取り、読み取ったことを正しく説明する場を増やしていくようにする。 ・他教科との関連を図りながら、グラフや表を用いて表現したり互いに説明したりする活動を積極的に取り入れる。